



2014年
平成26年

明けましておめでとう



執選総ま昨経早協ごまりの各くま心ななごめ
行が会す年過く議支す厚ご事り昨すからお家で新年
部行にとをいも会援く支業協年られ正族と
体なお振た二がの皆お援の議はおま月おうあけ
制わい四りし年設お様礼ご遂会高祝しを揃ごま
がれて月返ま九立陰の申協行の月いたおいざ
ス新役のつしきさで温し力に運地申こ迎でいし
タし員定てた月れか上を格営域上とえ幸ま
い改期みがて当いげ賜別やづげとにせすお

階課開放かまよ高だい協にすよ員域育福部ト
の後設課らしり月まい実力はがり会員社会当いた
部やも後はた指公たて績を地、組織(広報文化・振興)
屋夏委児そが定民一おを得域各組織(広報文化・振興)
や休託童の管館昨り残ての部され自治会しま
大みさク公昨理が年まし素皆会れ研修会は
木等れラ民年を長四すて晴様のて境・五た。
一は、ブ館四受浜月いらの事いの・・健つ
ルニ放のに月け市に、たしご業まに委地教の

常なの絆のよ「いどた員場活々館こが民限がかかる
はい絆」原く「東いういに氣利はれ良館り聞ら
何で」「点聞」日たぞと同すあ用地かくはでこ児
かしに向はきと本しよ思頑るふし域ら似脳す。え童
とよある三家ます「まろい張たれ易のも合や大の
ううる軒族が言災震すしまつめるく、皆高いかや変元
つか。で両の葉かおの参役いまに公すこりしな
う平は隣そをら願でり職のた益民」と公い声

て会す助おく助あく自り出誰東あがの害なし
いの隣聞「つお衛ましが日阪り一隣時近い
る活動地でさきと自た隣隊した一本神ます番近や所関
こ活動域あんまい助よさやたか番大淡す必所異付係
とは、づるのすう・うん警がの住震路要の常合に
やくと力が言共での察、調民災大で助時いなり
問今り思が、葉助す方でそ査をの震大けにも、が
題困協い「こを。々もれが助時災切合は、が
つ議ま共のよ公でなはあけ、やでいこ災ち

拶申な様はでに孫かみ域ニし助の間の地と
と上りにこあ頑なにつよが六新て力題こ域な
さげまさのり張る住たい益年しいで、がとでつ
せ、すら新まつよま町、町々もくく行すあは解
て新よにしせてうわ、発こ迎こ動なれ地決い
頂年う良いんい地せま住展のえとし、わば域し、こと
きのごい年か、こ域たたんし、高たで解「ん考
ご祈年がう全い子で、月平す。決共なえ
す挨念に皆で体町や良住地成

年頭ご挨拶

共助の「絆」を深めよう

高月地域づくり協議会会長
村井 弘

たかつき

地域力

第21号

《発行》
高月地域づくり協議会
広報研修委員会
委員長 武田雅博
<事務局>
高月公民館
TEL(0749)85-5204
FAX(0749)85-5744

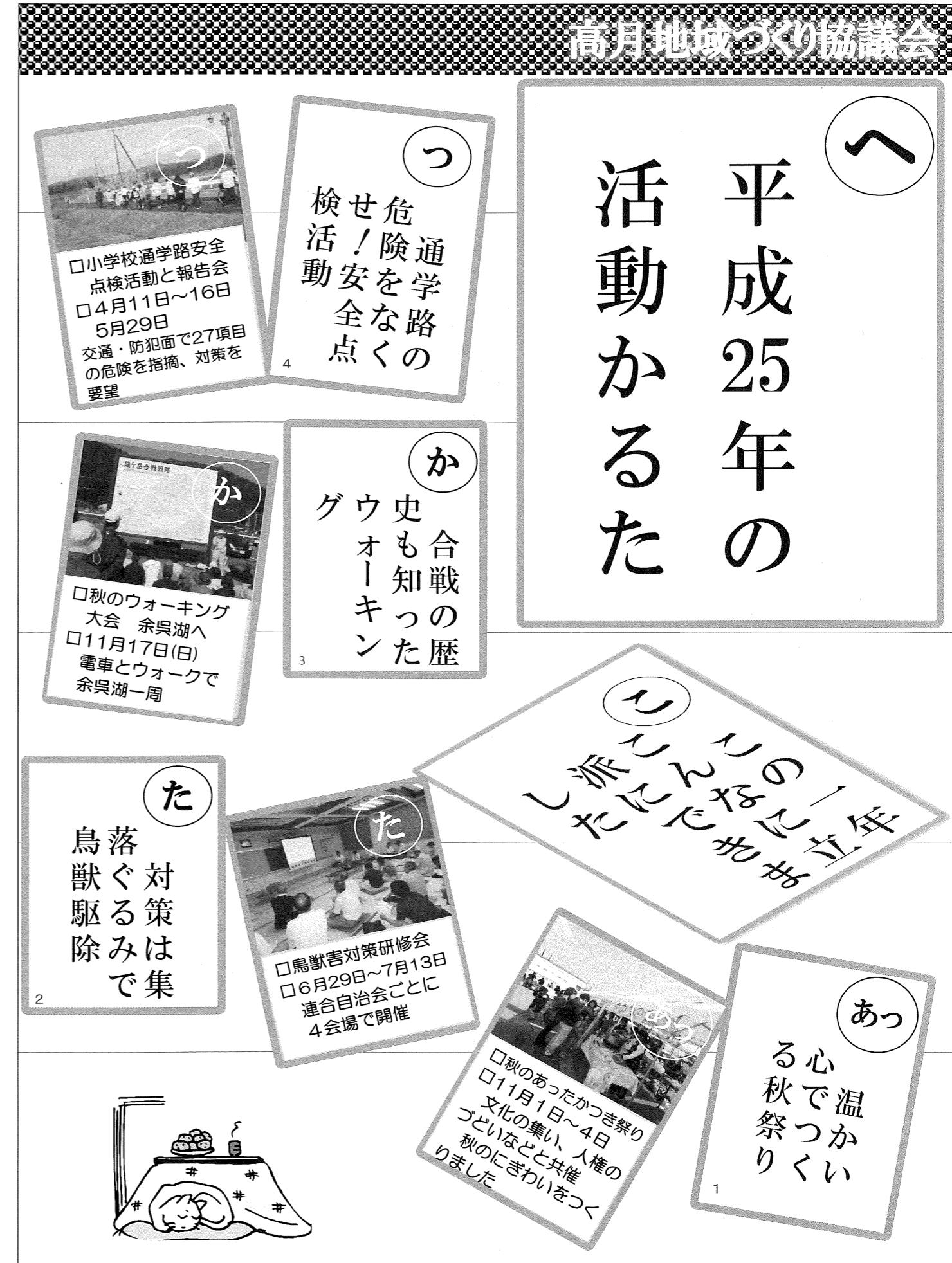
高月地域のようす
(平成25年12月1日現在)
人口
男 5,003人
女 5,112人
合計 10,115人
世帯数
3,257世帯

今年は午年

「干あ康豊てこう正一過七まは「ウ今
馬支ると作午いかの午日ぎ番す。午マ」
のよい年まらもとのた目。午年の
が動うう健はすきこい真とで十
いてあ物で意んこ中二と漢干
います。が中ろ。支書字支
はは中をのきでは



かいて民障りりるが、
りよこ皆費増でこ確馬本成動年真ア壯様
でうとが負税しとにのの長・で価ベ快は駿
すに落担よが的ご矢戦金すがノで勢馬
。願な馬増社うでをとで略融。問ミす。が駆
うらなで会かき射く流の緩財わク。が
ばなん国保る的鏑三和政れス。あけ



高月地域づくり協議会が管理・運営する



高月公民館からのお知らせ

でんわ
85-5204

趣味を楽しむ 初心者向け講座開催予定

構成員が高齢化の一連の変化に対応するため、高齢者のための講習会や講座を開催します。主な活動内容は、高齢者のための健康保険証の更新手続き、高齢者のための生活支援、高齢者のための文化・芸術活動等です。

茶道
書道
華道
ちぎり絵
コーラス
詩吟
ダンス
陶芸
など

毎月開催される講習会では、高齢者のための生活支援、高齢者のための文化・芸術活動等の内容が主な活動内容です。

編集後記

この号は、地域活性化を目的とした地域会議の開催報告と、高齢者のための講習会の紹介です。

今後も、地域活性化に向けた取り組みを進め、高齢者のための講習会や講座を開催していきます。

今後も、地域活性化に向けた取り組みを進め、高齢者のための講習会や講座を開催していきます。

毎月開催される講習会では、高齢者のための生活支援、高齢者のための文化・芸術活動等の内容が主な活動内容です。

毎月開催される講習会では、高齢者のための生活支援、高齢者のための文化・芸術活動等の内容が主な活動内容です。

小学生書初め

1月のロビー展

1月21日～
2月8日つつじ作業所
からのつぶやき

テレビ番組に衝撃をうけて感じたこと

つつじ作業所 所長 田中恒

あるところに、時計と離れて弟のまごは、おおはれNすめとムざで、こう愛をの婚説れい夫い人で〇代番話受たHがらをに年いお新とし着感家をわてる婦た暮再歳で組しけ番Kわ書悲初年がてがじ族しれ来とに男ら婚を離はした組で昨れく觀めます。でもあるのでまなこ今性しげ過婚、まこに放年たの的のき離り部温いすいろ住がをすぎし、三すと衝映ののもなコうましれ、屋もたがかをんしにる〇を擊さ秋でたこラ。

のなまいへ局向えネに用祉きにた園なししり、妻一孤で結面がいもはもて一を行をサた部にく行トたがスも独死局、倒らと行妻聞当ジ政進一ケ屋の散な方かす夫認は、う死んこれを自夫拒きがく事ヤやめビ一に声歩りがらきが知見分はんた「が者ケルスス戻」とし：分抜に目症最つ話なで泣くど、のをアたのつとて「かけアをに近、のでまく妻きしなこ結意交マめ利福てもき公ら出バ離なケす。

くご温作ま切続りきがい面業るし齡にでれかま映老追てお協か業今すだけまると地つし所現に化おしてと明しし介いは願力い所年とるせのし域たても実進はいたし身日た出護込いをごにも感こんかて資いい老の行待てがまにはじとがは何源作まい中しっ少うつ我れ現れなてが問わがの業すにでてた子日思まがい大いかで一所直作いな高本いさ身